

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
 691 図書館施設管理事業(～H29サービス・施設→H30～本館・西分館・新館)

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	図書館法		
関連個別計画	第2次和歌山市生涯学習基本構想及び和歌山市生涯学習基本計画		
担当課・担当課長・Tel	市民図書館	坂下 雅朗	432-0010
関連課	生涯学習課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	図書館費		
	大事業	図書館事業		
中事業	図書館施設管理事業			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 図書館設備を適正に維持管理し、図書館利用者に安全・安心かつ快適な環境を提供していく。 図書館サービスを効果的・スピーディに行うための図書館システムを構築・運用し、現代の高度情報化社会に対応しながら市民の高度な情報ニーズに応えるべく情報を収集・発信していく。		全体事業概要 図書館内外の安全かつ快適な環境を維持するために諸施設の維持管理を行う。 図書館サービスを効果的にすすめるための電算システムを構築し、情報の収集及び発信を効率的に行うWebサービスを展開する。 平成31年度の開館に向けて、新図書館の建設工事を進め書架の設置など開館準備を行う。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
○所々修繕 インターホン増設修繕 外部地下階段修繕 1F女子トイレ大便器洗浄管 漏れ修繕 消防用設備修繕 プロジェクター機器修繕 ○庁用器具費 木製ベンチ		○所々修繕 ハロン用鉛蓄電池取替修繕 3F男子トイレ小便器取替修繕 泡消化設備修繕 2F女子トイレ大便器洗浄管漏れ修繕 1F女子トイレ便座取替修繕 玄関外自動扉開閉装置一式取替修繕 2F男子トイレ汚水排水管漏れ修繕 ○西分館開館準備に伴う建設 ○本館移転に伴う新館建設のための債務負担金契約	○新館開館に伴う準備 ○西分館オープン ○図書館内外の安全かつ快適な環境を維持するために諸施設の維持管理を行う。	○図書館内外の安全かつ快適な環境を維持するために諸施設の維持管理を行う。 ○新図書館開館準備のための整備等を行う。		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	103,679	97,735	321,511	289,078	857,566	856,956	1,011,608			
伸び率(%)	-	-	210.1%	195.8%	166.7%	196.4%	18.0%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	13,138	32,726	32,728	42,610	42,610	34,684	32,346		
	正規職員以外	4,658	2,501	2,501	2,621	4,119	242	484		
	小計	18,198	35,227	35,227	45,231	46,729	34,926	32,830		
国庫支出金		5,724		34,501	162,700	628,288	150,000			
県支出金	262	178								
市債	21,700	13,300	175,200	143,500	551,100	131,900	677,800			
その他	27	64	27	52	32	15	15			
一般財源(税等)	81,688	78,488	146,284	111,025	143,734	96,753	183,793			
所要人数(人)	正規職員	1.77	4.30	4.30	5.36	5.36	4.35	4.06		
	正規職員以外	1.58	1.14	1.14	1.15	1.39	0.05	0.1		
主な予算内訳	1129年度決算には28年度からの繰越事業費693,253千円が加算あり。1130年度の上は予算内訳は、権利交換計画員金905,274千円、新館設計委託料25,049千円、工事監理委託料3,874千円、機械等借上料33,573千円、業務委託料15,803千円、施設設備保守委託料14,914千円、管理委託料9,111千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 ホームページ(トップページ)アクセス件数	件	目標値	400,000	430,000	500,000	500,000	
		実績値	420,120	595,405	902,667		
		達成度(%)	105.0%	138.5%	186.1%		
成果指標 年間来館者数	人	目標値	200,000	210,000	210,000	210,000	
		実績値	207,933	196,668	269,110		
		達成度(%)	103.9%	93.7%	127.8%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	図書館全域サービスに伴う図書館空白地域解消に向けて、郊外にH29年5月1日に初めての分館が開館した。それに伴う整備工事費のため事業費が増大した。本館は、施設・設備が老朽化し修繕箇所が増加しているため、和歌山市駅への移転が決定しており建設等準備が進んでいる。
見直し・改善内容	施設・設備が老朽化し、徐々に本来の機能が十分に果たせなくなるといった状況のもと、さらに新館建設に係る負担金や業務の増大など今後も事業費の増加は避けられないが、改修・修繕箇所の見直しと優先順位を検討する。